

4-2 関東甲信地方の地殻変動 Crustal Movements in the Kanto District

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

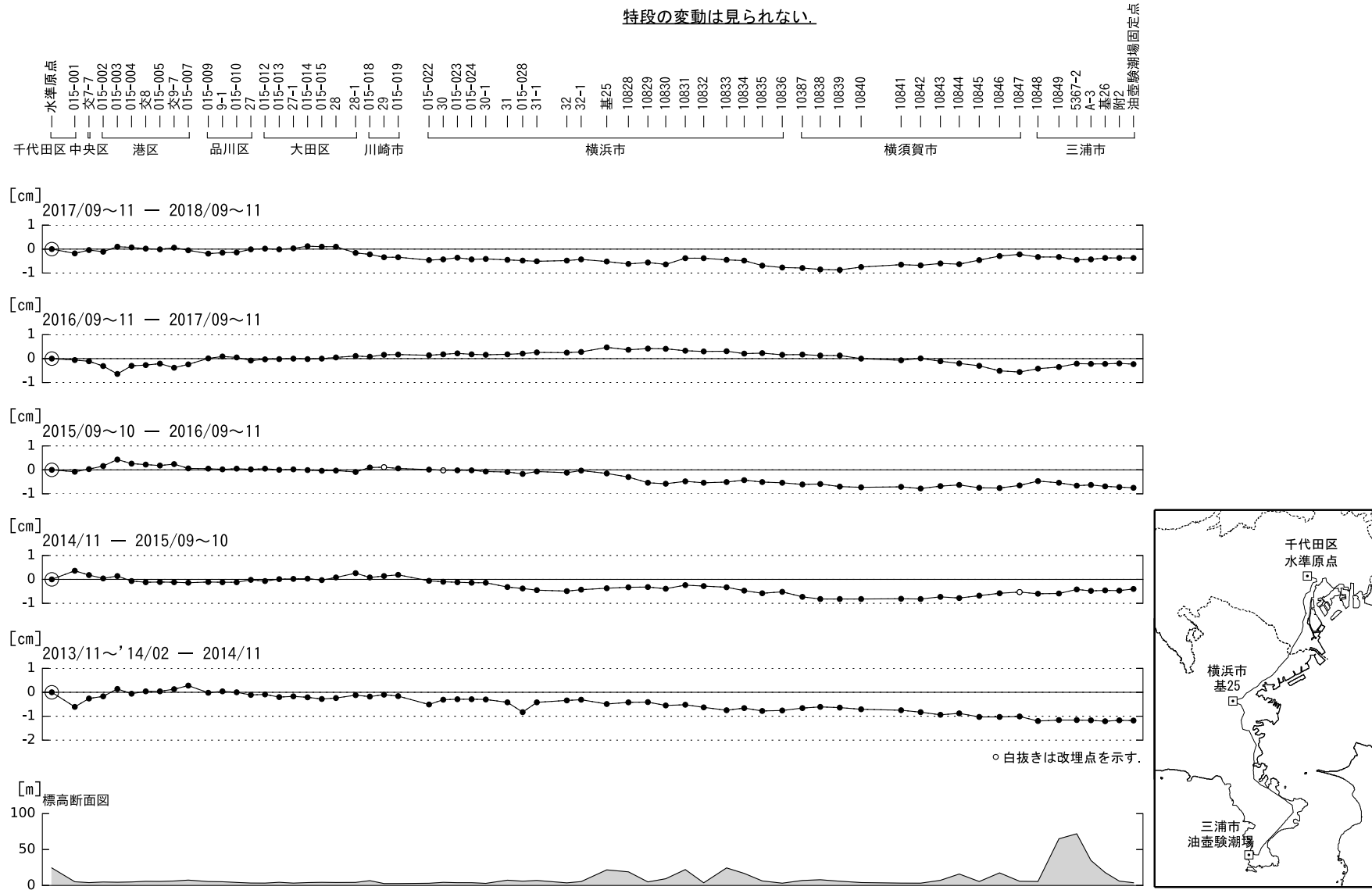
[水準測量]

第1図は、水準原点から三浦半島先端にかけての水準測量結果である。最新の結果では、特段の変動は見られない。

第2図は水準原点に対する三浦半島の上下変動時系列である。1960年代以降東北地方太平洋沖地震前まで、半島の先端側が長期的かつ継続的に沈降していた。また、三浦半島の付け根のF25(横浜市)、J35-7(横浜市)も最近30年間は継続的に沈降の傾向であった。東北地方太平洋沖地震を挟む期間においては、震源側の沈降により水準原点に対する各点の隆起傾向が見られたが、その後は地震前と同様に沈降の傾向となっている。

水準原点～油壺験潮場間の上下変動

特段の変動は見られない。

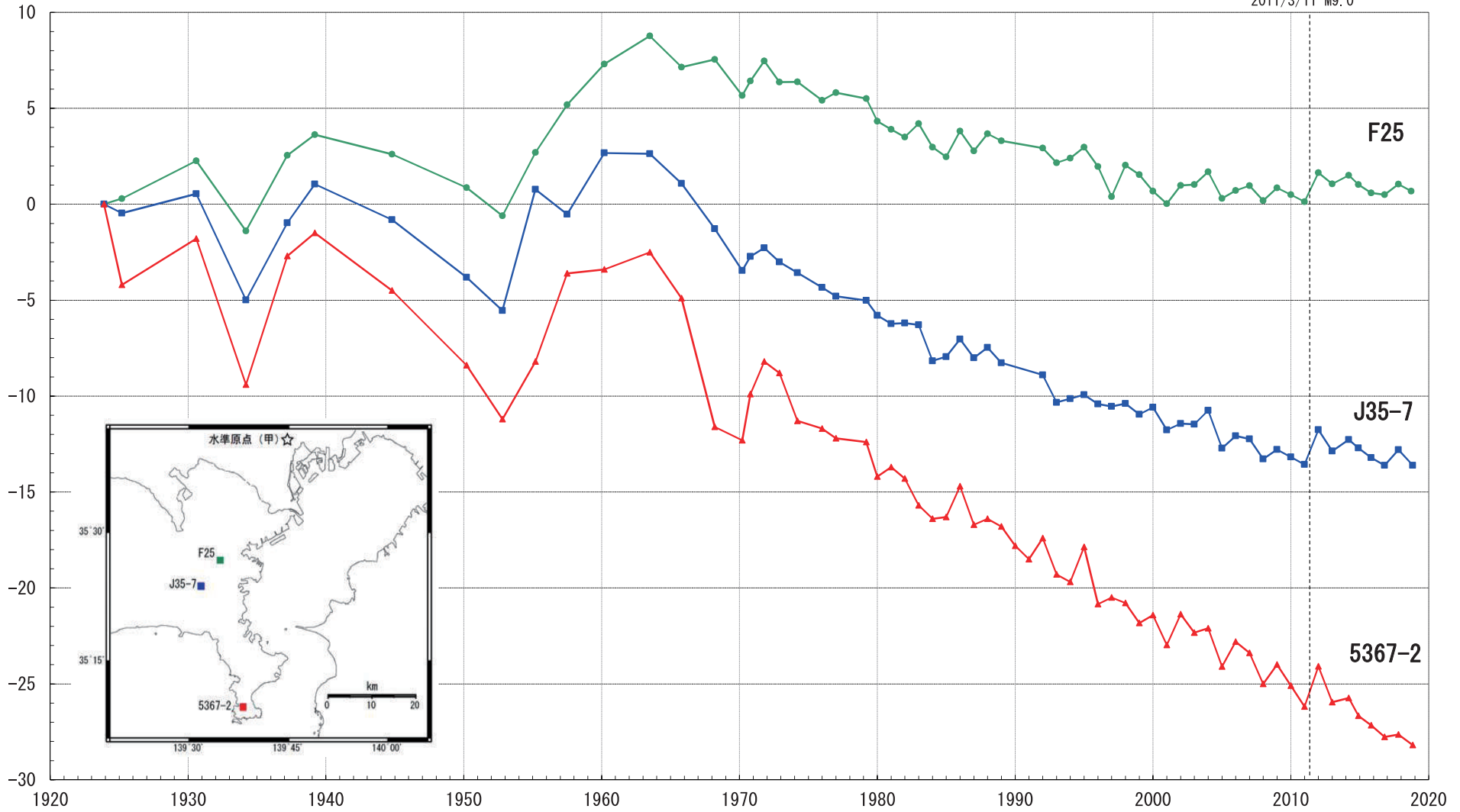


第1図 水準測量による水準原点～油壺験潮場の上下変動
 Fig. 1 Results of leveling survey from Vertical Datum to Yutsubo tide station.

1923年を基準とした三浦半島（一等水準点）の経年変化

水準原点（甲）に対する三浦半島先端側の沈降が継続している。

2011/3/11 M9.0



第2図 水準原点から見た三浦半島周辺の水準点の上下変動時系列

Fig. 2 Time series of height change on benchmarks around Miura peninsula referred to the Vertical Datum (KO) of leveling.